

## 全国都道府県対抗女子駅伝大会を終えて

金子 麗

1月15日行われた全国都道府県対抗女子駅伝にコーチとして参加しました。私は、中学・高校時代に5回参加したことがあり、今回7年ぶりに女子駅伝チームに帰ってきました。違った立場ではありますが、また駅伝に携われることを嬉しく思いました。

駅伝に向けては、12月の選考レース後、計3回の練習会と年末・年始に2回の合宿を行い調整してきました。

選手の士気も徐々に高まり、京都に入ってからチームの調整は順調でした。が、結果は22位。

1・2区でうまく流れにのることができず、3区以降もその流れを変えることができませんでした。流れの大切さを痛感しました。

入賞を目標にしていた分、とても悔しい結果となりました。

しかし、選手は都大路を一生懸命走りました。今回控えにまわった選手も全力でサポートしました。

私は近くで見ていて悔しさもありましたが、感動も大きかったです。

また、この女子駅伝はチームに中学生から一般の選手までいて出身の学校、実業団もさまざまです。

今回の駅伝を通して、チームで合宿や試合を共にすることで、走りの面だけではなく、いろいろな事に刺激を受け得られたものがたくさんあったと思います。私も中高生の時はそうでした。毎回、頑張ろうと思って自分のチームに帰っていたように思います。

今回の駅伝で得たものを生かし、それぞれの場所で頑張ってもらいたいと思います。

そして、その力が来年の都道府県駅伝につながっていければ嬉しく思います。

最後に、長崎県女子駅伝チームにたくさんの応援をいただきありがとうございました。